

---

## 特集 2 : 宇宙医学と未来医療

---

### 【巻頭言】

武田 憲 昭 (徳島大学医学部感覚情報医学講座耳鼻咽喉科学分野)  
松崎 孝 世 (徳島県医師会)

第225回徳島医学会学術集会では、できるだけ多くの先生方に興味を持っていただくと同時に、担当である実践栄養学教室と耳鼻咽喉科学教室とが共に関連するテーマを選び、セッションを企画しました。セッションⅠでは、最近の栄養補助食品ブームに関連して evidence-based nutrition を取り上げました。栄養学科の教授の先生方に講演していただき、豪華なセッションになりました。セッションⅡでは、最近、増加しているアレルギー疾患について、栄養学、免疫学、臨床の立場より議論をしていただきました。最後に、徳島大学医学部は宇宙医学の研究が盛んですので、セッションⅢではこのテーマを取り上げ、専門の先生に未来医療への夢を含めてご紹介していただきました。

本学術集会ではさらに、苛原 稔教授に教授就任記念講演をお願いしました。第8回徳島医学会賞受賞者として清水一郎先生と細川 忍先生に講演していただきました。ポスターセッションでは22題に対して演題に活発な討論が行われました。このような盛大な学術集会を終えることができましたことを、徳島大学、徳島県医師

会の関係各先生方に感謝申し上げます。

宇宙医学とは宇宙環境が人体に与える影響とその予防に関する学問です。本特集では、徳島大学医学部で宇宙医学の研究を行っている先生に宇宙医学の現状について概説していただき、未来医療への応用について夢を語ってもらいました。宇宙飛行士が宇宙環境に曝露されると、様々な生体反応が生じます。まず、最初に現れるのは宇宙酔いです。私はこの神経メカニズムの研究をしていましたので、宇宙医学のミニレビューと共に解説しました。さらに長時間、宇宙環境にさらされた場合、循環系の変化に引き続き、筋肉の萎縮、骨の脱カルシウム、免疫機能の低下、被曝の問題が生じてきます。筋萎縮の問題については国際宇宙ステーションでの宇宙実験を予定している栄養生理学の二川 健先生に、骨の脱カルシウムについては日本宇宙フォーラムの研究テーマに選ばれて研究を行っている生体情報内科学の井上大輔先生に、免疫機能の低下についてはNASAと共同研究を行っている実践栄養学の山本 茂先生に解説していただきました。